

原木流通通信 (12月号) **JForest**

秦野市菖蒲貯木場

例年に比べ暖かい陽気の中行われた11月の市、取扱量は1,000.680m³となりました。
 入荷は、系統の組合から517m³、国から96m³、民間の事業者から387m³となり、系統の組合からと民間の事業者からの活発な出荷となりました。
 販売状況は、県内・県外の業者から建築用の構造材を中心に全品目に注文があり、先月に続き好調な売れ行きとなっておりますが、入荷してくる材が夏場に伐った古材が多く、思うような単価上昇に結びつかない状況となっております。
 相場は、先月同様、ヒノキの構造材は引合いが強く、堅調に推移しており中目も保合いで推移しています。
 一方、スギは桁目及び中目に注文はありますが、総じて引合いが弱く、保合いで推移しています。



現在の合板用丸太の買取価格		合板用素材の基準等
区分	買取価格	・材長:4m造材は、4.10(4.07~4.13)m。 ・直径:樹皮を除く末口最小径18cm以上、元口径は最大58cmまで。 ・神奈川県産の間伐材で合法伐採されたスギ・ヒノキに限る。
スギ	6,100円/m ³	
ヒノキ	10,100円/m ³	

秦野市堀山下貯木場

素材生産が最盛期となり、堀山下貯木場への入荷は順調でした。
 11月は県西地域から98m³の入荷量となりました。今月はバイオマス燃料用として33m³、パルプ用として65m³を販売し荷動きが良い状況となっております。
 間伐由来のC材の有効利用を高め、木質バイオマス燃料やパルプ原料としての安定供給を図るため、多量の出材をよろしくお願いたします。



現在のC材の買取価格	C材の基準等
3,200円/m ³	・C材のみの入材に限る。(末口は8cm以上、材長は3m4m別)

秦野市菖蒲小径木加工場

11月の小径木原木は順調に入荷しております。
 製品の注文も好調で今後注文の増加が見込まれることから注文の際は早めにお願いたします。
 これからの注文に備え在庫確保に努めてまいりますので、引き続き積極的な小径木原木の出材をよろしくお願いたします。
 なお、小径木原木(虫害材も同価格だが、著しいビクサレ等の被害材は除く)は、下記の単価で買い取らせていただきます。



3m	9cm~13cm	7,000~9,000
4m	9cm~14cm	8,000~10,000

【11月の市況等】								(m ³ あたり単価)	
スギ	3m	柱目	5,000~12,000円	ヒノキ	3m	柱目	14,000~20,000円		
	3m	中目	5,000~12,000円		3m	中目	14,000~18,000円		
	4m	桁	6,000~12,000円		4m	土台	12,000~20,600円		

【お問い合わせ先】
 〒259-1332 秦野市菖蒲317番地 神奈川県森林組合連合会 生産販売課
 TEL 0463-73-5295(販売) 0463-73-5296(共販・加工) fax 0463-88-6768(1F)